

富谷市記者会見資料⑧  
令和8年6月24日  
保健福祉部長寿福祉課  
保健福祉総合支援センター  
担 当：大谷  
連絡先：022-348-1138

## 富谷市チームオレンジ認定証授与式

市では、認知症施策推進の一環として、認知症の方を含めたすべての高齢者と家族が、希望をもって自分らしく暮らすことができるよう、地域との懸け橋となる「チームオレンジ」を共に構築し、地域の見守りや社会参加の体制整備に取り組んでいます。

このたび、市内で日常生活圏域ごとに活動を行っている3団体に対し「チームオレンジ」認定証の授与を行います。

「チームオレンジ」は認知症基本法に規定する共生社会の実現に向けた取組として国が推進するもので、本市としては初めての団体登録及び認定となります。

報道機関の皆様におかれましては、ぜひ、取材していただきますようお願いいたします。

### 記

1. 日 時 7月2日(木) 14:00~14:30
2. 場 所 富谷市役所 305会議室
3. 主 催 富谷市
4. 内 容 チームオレンジ認定証の授与、団体挨拶、記念撮影等
5. 出席者 チームオレンジ(3団体)  
富谷市長 若生 裕俊  
各圏域の地域包括支援センター
6. その他 富谷市チームオレンジの概要等は別紙の通り

### ※チームオレンジとは

認知症サポーター等が支援チームを作り、認知症の人本人が参画し、その意向を支援チームの活動に反映する機会を設け、地域ごとに、認知症の人やその家族を、その支援ニーズに合った具体的な支援につなげる仕組み

## 富谷市チームオレンジの概要

### 1 チームオレンジ（認知症施策推進計画より抜粋）

認知症の人と家族のやりたいことや困り事に対して、認知症サポーター等が認知症の人や家族とともに活動し、地域で支え合いながら、認知症の人と家族の想いをかなえる活動へつなげる仕組み。

### 2 設置の経緯

富谷市では、共生社会の推進に向けて、令和8年度までにチームオレンジの設置を目指し、各地域包括支援センターに配置している認知症地域支援推進員を中心として、チームの設置を推進。

令和7年度中に地域包括支援センターの支援を受けながら、日常生活圏域ごとに団体が立ち上がる。

### 3 各団体について

1	富ヶ丘・日吉台圏域	
	チーム名	いちい暖々（だんだん）
	構成員	認知症当事者、介護経験者や介護中の方、地域住民等
	活動内容	歌、音楽、認知症の正しい理解の普及啓発を目的とした演劇等
	設置	令和8年2月
2	東向陽台・成田圏域	
	チーム名	チームまりい
	構成員	認知症当事者、家族、地域住民、介護支援者
	活動内容	認知症があってもなくても誰でも集える場所を紹介するマップを作成し、完成後に圏域内で配布を通して活動を展開予定等
	設置	令和7年8月
3	富谷中央・あけの平圏域	
	チーム名	チームあけぼの
	構成員	認知症当事者、家族、地域住民
	活動内容	認知症カフェの運営補助、住民の傾聴、認知症関連事業の補助等
	設置	令和8年2月